



【戦評シート】

平成 16 年 5 月 4 日 (火)	協会名： 能代市 バスケットボール協会	
場 所： 能代市総合体育館	記入者： 畠山 雅樹	
チームA 市立船橋高校 66	{ 18-18 21-11 13-12 14-24 }	チームB 安城学園高校 65

スターター	チームA： #5吉本、#6中村、#7福田、#8高橋、#9西鶴 チームB： #4清水、#5中野、#6永田、#7伊藤、#13宇佐美
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 () チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン (2-2-1) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (2-3ゾーン)

第1Q出だし、両チームともかたくなり、なかなかシュートが決まらない。3分過ぎ安城#7伊藤がドライブからシュートを決め始める。市立船橋は、高さを生かして#6中村がインサイドから得点を重ねる。第1Q18-18で終了。

第2Q、市立船橋のマンツーマンを安城が攻めきれず、フリースローの得点でしか加点できない。市立船橋は、安城のゾーンディフェンスに対して、パスをうまく回し、インサイドで着実に得点を重ねる。残り6分には、32-24で船橋の8点リードとなったところで、市立船橋がタイムアウトを請求。安城は#8伊与田らガード陣が果敢にドライブからのシュートを狙うが、市立船橋のセンターらに、ブロックされ得点できず苦しむ。結局39-29と市立船橋10点リードで前半終了。

第3Q、安城はアウトサイドから#8伊与田、#10坊野が、シュートを狙うが入らず、市立船橋も安城の固い守りで、インサイドのシュートを止められお互いに思うように加点できない状況が続く。市立船橋52-41で第3Q終了。

第4Q、安城#7伊藤が3Pを2本決めるなどし、点差が一気に縮まる。残り8分、53-49と4点差に点差が縮まったところで市立船橋がタイムアウト。残り2分、安城#7伊藤が3Pを決め、62-60とついに安城がリードする。市立船橋は#6中村が入れ返し、64-62と再び逆転、残り41秒となったところで、安城がタイムアウト。安城は激しいディフェンスでボールを奪い、逆転を狙ったがシュートまで行けずに船橋がボールを保持して、66-65で船橋が1点差で逃げきった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。